

## 令和6年度米子市スポーツ推進審議会 発言要旨（委員からの質疑応答）

### 【スポーツ推進計画に掲げる施策の令和5年度事業実施状況について】

#### 《少年スポーツ教室の委託料について》

- ・開催委託料の決算額が予算額から1,500円減っているが、理由はなにか（木村委員）  
⇒夏季教室のゴルフで当初予定から講師が1人減ったため委託料を減額した（事務局）

#### 《体育施設管理運営事業について》

- ・事業費は予算の範囲内で措置されているか。また、施設利用者のアンケートをみると、数年にわたって同内容の要望が上がっているが、苦情などはないか。（木村委員）  
⇒事業は全て予算の範囲内に収まっており、予算を超過して実施しているものはない。要望事項については、全てに予算措置できているわけではないが、利用者の安全を第一に考えながら優先順位をつけ、緊急に対応する必要があるものに関しては、極力すべて対応している。（事務局）

#### 《市民球場の調査設計費について》

- ・スコアボード、放送設備、屋外LEDの調査設計に1億円以上の予算がついているが、決算額が1,500万円とかなり下がっているのはなぜか（田中委員）  
⇒予算を要求した段階では、現在あるスコアボードの土台部分やLED照明の支柱がリニューアルにたえられるものかわからなかったため、一度全てを解体し一からやり直す場合を想定し、予算を組んだ。実際に調査をした結果、土台部分や支柱がそのまま使えることが分かったので、設計費がずいぶん安くなったというのが大きな要因である。（事務局）  
⇒調査後に設計費の予算要求すれば、実際に近い予算を組めるのではないか。（田中委員）  
⇒今回は調査と設計の両方を1年で行なうスケジュールにしていたので、こういう形になった。（事務局）  
⇒やり方については今後考えていってほしい。（田中委員）

#### 《心身の安全・安心の確保について》

- ・スポーツ少年団指導者を対象とした講習会の市内からの参加者が19人と少ないように思うが、何人を対象とし何割が参加したか。（下雅意委員）  
⇒他の町村のスポーツ少年団が対象に含まれており、一つの少年団に複数指導者がいるケースもあるため、母数が何人であったかは把握していない。欠席した団はもちろんあるが、市内の少年団（令和5年は24団が登録）からはおおむね1団1人程度出てきていただいているような形になっている。（事務局）  
⇒市のスポーツ教室には案内を出していないのか。（下雅意委員）  
⇒こちらは鳥取県スポーツ少年団から助成金を受けて行なっている事業であり、スポーツ少年団以外に参加範囲を広げることが難しく、スポーツ少年団に範囲を限定して開催している。（事務局）

#### 《スポーツ教室の参加者について》

- ・ 種目によって開催回数と人数に差があるが、開催形態が異なるのか。(杉村委員)  
⇒ラグビー、柔道、剣道、ハンドボール、陸上競技、ミニバスケットボール、体操については通年で実施している。対して、テニス、バドミントン、空手道、ダンススポーツ、バウンスボール、ゴルフ、ボクシングは夏休みの短期的なスポーツ教室として開催している。  
⇒回数の少ない7教室はスタッフの人出が少なく通年開催が難しいという解釈でいいか。(杉村委員)  
⇒人数の問題ではなく、年間を通じて教室を開ける指導者の確保が難しいため、夏期教室として開催していただいている。(事務局)

#### 《スポーツ大会の参加者数について》

- ・ スポーツ大会の参加者数や学校体育施設の利用者数が令和元年度と比較すると減少しているが、要因はなにか。(木村委員)  
⇒令和2年度以降の減少は新型コロナウイルス感染症の影響で一部の大会が開催できなかったり、学校の施設を開放できなかったりしたことが要因だった。令和5年度からは徐々に回復の兆しをみせている。(事務局)

#### 《部活動の指導者について》

- ・ 先生の勤務延長などにより、部活動の指導者を各地域で確保していくことの議論が進んでいると思うが、米子市の対応はどうなっているか(木村委員)  
⇒本市も部活動地域移行の取り組みを進めており、本年度から部活動指導員についても新たな制度をつくり、多くの人に入っていただけるよう説明をさせていただいている。部活動指導員の取り組みについては来年度以降も継続して進めていきたい。(事務局)  
⇒地域移行はどの程度、進んでいるのか(木村委員)  
⇒部活動指導員は令和2年度、令和3年度は5名、令和4年度は6名と推移し、令和5年度は14人だった。さらに令和6年度は21人に増えている。(事務局)

#### 《新体育館「米子アリーナ」について》

- ・ 当初の計画と比較して進行具合はどうか。(木村委員)  
⇒現在は旧市民体育館の解体を行なっている。ただ、改めて調査したところアスベストが検出されたので、その処分にかかる期間として当初より2か月遅れて事業が進んでいる。新体育館のオープン当初令和9年3月を予定していたが、令和9年5月にずれる予定となっている。(事務局)